

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう  
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



# 薫陶

学校だより くんとう

11月号 令和6年10月29日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小HP QR コード



## 行事を通して伸びる 七塚っ子

日が暮れる時刻も日に日に早くなり、秋の深まりを感じる今日この頃です。9月28日の運動会では、たくさんの保護者の皆様のご協力ご声援、本当にありがとうございました。「楽しかった、やってよかった」と思える会となるように、職員一同様々な工夫をして今回の運動会を実施しました。子供たちは、それぞれの種目や応援で、精いっぱい力を発揮しました。また「元気100倍！優勝目指してつき進め」のスローガンのとおり、それぞれの精一杯の力を発揮してくれました。勝っても負けても、きっと大きな達成感が得られたことでしょう。さらに一回り成長できた七塚っ子たちは、本当に素敵でした。



かけあし運動の様子

また10月29日の校内マラソン記録会では、1～3年生1km、4～6年生1.5kmという距離を、最後まで一生懸命走る子供たちの姿を見ることができました。かけあし運動(業間運動)を通しての頑張りを本番でも発揮し、粘り強く最後まで走り抜く姿はとても感動的でした。また他学年の走者にも声援を送る爽やかな光景、そして保護者の皆様の大きな拍手に、改めて七塚小学校の温かさを感じることができた大会でした。ご家庭でもたくさんの励ましの言葉をかけてくださったことと思います。ご協力ありがとうございました。

さて、11月1日は、学校公開日です。6限目はPTA研修部による講演会「防災教室」が5・6年生と保護者を対象にして開催されます。5年生は総合的な学習の時間に田植え稲刈りをしたお米を使って作った蒸しケーキを販売します(長休み5-1, 昼休み5-2)。売り上げは以前の地引網同様、「七キラ基金」として被災地に寄付する予定です。ぜひ足をお運びください。



## 10/26 生涯学習フェスティバル 吉川美代子さん記念講演会 「声と言葉の力で、人生をより明るくしよう」を拝聴して



元TBSアナウンサー、キャスターとしてもご活躍の吉川美代子さんの講演会で「愛される話し方」とはどのような話し方なのかというお話を伺いました。

- コミュニケーションは、言葉と言葉のキャッチボールのようなもの。自分が一番伝えたいことを、相手の心のミットに理解できるような言葉のボールで投げかけてあげることの大切さを再確認してください。
- あいさつは、防犯や万引き防止にもなります。ちょっとしたコミュニケーションがとても大切。あいさつがちゃんとできないから、些細なことが大きなトラブルにつながってしまうのです。
- 自分の伝えたいことが、意図したとおり相手に伝わるとは限りません。自分の思っている言葉のイメージと相手のイメージが同じとは限らないからです。ではどうしたら伝わるか。それは「相手にこれを伝えたい」と思う気持ち、そして相手に共感する気持ち、思いやる気持ち、最終的には人間力です。現代は、病院でお医者様がパソコンでカルテを見ながら話すように、顔を見て話さない傾向があります。名医といわれる人は、言葉にならない表情や様子も診ているのです。
- 人によって声は違います。地球上にたった一つのあなたの声で伝えていきましょう。言葉と切り離せない声は、第二の人格であり、世界にたった一つの自分の宝。その人の人生経験こそがその人格(声)を作り上げていくのです。世界で一つの私の声で、相手に心を伝える言葉の力はとても大きいです。

～「子供の目を見てコミュニケーションとっていますか？子供の声の様子に耳を傾けてますか？」

教育の現場ではもちろん、ご家庭でも、職場でも、とても参考になるお話でした。～

